

耕作放棄地の現状と休耕地に 対する取り組みについて

椎名 利夫 議員

質問 国は食料自給率の向上を図るため耕作放棄地や休耕地の農地としての再生に取り組んでいます。最初に美浦村の耕作放棄地の総面積はどのくらいあるかお伺い致します。次に現在までの取り組みや今後の方針をお答え願います。また再生する取り組み支援として10アール当たり国が5万円、県が2万7500円、合計7万7500円の補助があります。美浦村として更なる追加補助が必要かと思われ

ます。シルバー人材センターの活用について村長の見解をお聞かせ願います。

答弁（経済建設部長） 本

村の耕作放棄地の総面積は135ヘクタールです。耕作放棄地の発生原因として、農業者の高齢化や労働力不足、農地の引き受け手がない、条件が悪い等があげられます。平成22年8月耕作放棄地の再生利用を図るため「美浦村耕作放棄地対策協議会」を設立し農業委員会による状況調査を行っています。また、水田耕作者に対し調整水田の改善計画書の提出をお願いし、耕作放棄地の予防・解消に努めております。今後の方針につきましても「誰がやるか」「何を作るか」「土地条

件はどうか」等留意し耕作放棄地解消や抑制に向け地権者の意見調査等実施して行きます。今後は耕作者の確保が必要不可欠と思われるので農業後継者の確保・担い手の育成をしてまいりたいと思います。補助金追加、補助対象にならない事業の助成については、現時点では村として補助金は考えておりません。最後に耕作放棄地再生作業にシルバー人材センターの活用につきましても、再生作業は自らの施工委託等になりますから、村として委託先までの指導はできないと考えます。

質問 美浦村では今のところ追加の補助金は考えていないということですが、阿見町では補助金の交付を実施しております。他の市町村を見ましても色々な対策を行っております。つくば市は色々な情報をデータベース化してグリーンバン

ク制度を導入致しております。美浦村もグリーンバンク制度やプロジェクトチームのようなものを作り再生を行っていくような方向にしている、と思うのですが村長の見解をお願いします。

答弁（村長） まとまってあるところは引き合いがあるが小さい面積だと難しいというような情報は来います。補助金と色々な絡みになってくると適合するかどうかということもあります。

また、情報のデータベース化につきましては、行政がファイリングして農業を希望する団体や企業が来たときにある程度のデータを出して対応ができるようなものは作っておくべきであろうと思います。面積は把握していますので賃貸についても同意ができるところはやるような形を担当の方で進めていきたいと思いま